

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
 (事務局：全国私立学校教職員組合)
 No.23 2021年12月2日(木)

私学助成増額・拡充の願いを県議会へ 新潟

新潟「県私学の公費助成をすすめる会」が11月26日に、県議会に署名提出・要請行動を実施しました。各県で議会への提出行動が取り組まれています。私学助成の増額・拡充の願いを署名の束とともに、議会に届けていきましょう。全国私教連への署名数の報告もよろしくお願い致します。

にいがた私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に！

2021年11月30日

新潟県私学の公費助成をすすめる会
 新潟市中央区弁天橋通 1-13-13
 TEL 025-286-7600

来年度県予算で私助成増額・拡充の願い受け止めて！ 県議会あて請願署名57,419筆提出

署名とともに、県議会議長あての要望書を田中県議会議務局長(写真 右)に手渡す中村「すすめる会」会長。
 (11月26日 県議会議務局長室) →



田中事務局長に請願内容について説明し、要望する要請団メンバー。(11月26日 同局長室) ←



県議会議務局長「お預かりした請願は、県議会で議論されることになります」

「県私学の公費助成をすすめる会」は二十六日、県議会の田中敏事務局長に会い、この日までに集約された五万七千四百十九筆の署名を提出するとともに、来年度県予算で私学助成予算が増額・拡充されるよう県議会で十分な議論を要望しました。

提出行動の参加者は、コロナ禍での感染防止対策により六名に絞られました。「すすめる会」から中村直美会長、本田礼子副会長(私学父母の会会長)、渡辺利宏事務局長、県内私立高校の教職員代表として宮腰一私教連委員長(上越)、鈴木顕さん(青陵)、竹内拓さん(中越)が参加し、それぞれの立場から要望しました。

要望に耳を傾けていた田中事務局長は、「お預かりした請願署名は、十二月開会の議会で議論されることとなります。議会にはしっかりと署名を届けます」と答えました。

請願事項について、田中事務局長に説明した要旨は以下の通りです。

①私立高校生・保護者の学費負担軽減のために制度を拡充すること。

②各校への「振興補助金(経常費助成金)」を増額すること。

①については、特に年収五九〇万円を超えると、いつきに低額となってしまう国の就学支援金(約三十九万円)約十二万円の「崖」を、県が補充してほしいということとです。すでに全国で三〇近い都府県が、その「崖」に対して単独補助を実施しており、新潟はその流れからも遅れています。

②の「振興補助金(経常費助成金)」の増額も喫緊の課題です。教職員の多忙さは社会問題になっていて、公立高校以上に私立高校の現場はさらに深刻。それは教職員数を比較してみれば明らかで、私学はほとんどの学校が県立に比べて教職員数が少ない上に専任教職員の割合も少ない。その分、期限付き雇用の常勤・非常勤教職員が多くなっています(県立二十四% 私立四十一%)。期限付き雇用の教職員の雇用問題も生じています。これらの問題を改善するためにも経常費助成の増額が必要です。

●「すすめる会」は署名提出に先立ち記者会見を実施。NHK、新潟日報、三条新聞が取材しました。

三 條 新 聞 2021年(令和3年)11月27日(土曜日) (2)

国会あて署名の提出は来年2月

国会あて署名は、引き続きとりくみを継続します。

私学助成署名集約院内集会

■12月10日(金)
 ■参議院議員会館・大講堂

※この日、「すすめる会」は要請団を組み地元選出の国会議員へ私学助成署名紹介議員依頼など要請を行います。

新たな授業料助成を
 年収590万円～910万円未満世帯

私学助成の増額、拡充を
 新潟県の助成は最低レベル

私学助成5.4万筆の署名簿添えて

新潟県が私学助成をすすめる会(中村直美会長)は二十七日、県議会に私学助成の増額・拡充を要望する署名簿を提出した。署名簿は、私学助成の増額・拡充を要望する署名をまとめたもので、総筆数は五万七千四百十九筆。署名簿は、私学助成の増額・拡充を要望する署名をまとめたもので、総筆数は五万七千四百十九筆。署名簿は、私学助成の増額・拡充を要望する署名をまとめたもので、総筆数は五万七千四百十九筆。